戦略的
コミュニケーション研修

～ 情報の助け合いロードの
基盤をつくるために ～

MORII
ヒトづくり事業部

森井製作所　ヒトづくり事業
戦略コミュニケーション研修



問題は「情報がない」ことではありません。
人と人との間に、情報が自然に通る「道」が
できているかどうか。

森井製作所 人づくり事業では、
社員と社員をつなぎ、情報が行き交い、
助け合える組織の基盤をつくります。

情報の助け合いロードをつくる
３つの基盤（独自ツール）

1

脳傾向性診断
PAシート

Potential Assessment Sheet

脳の使用傾向を数値で可視化し、
自分と相手の「思考のクセ」を
客観的に理解します。



2

UECカード
&メモ書き

Understand Each other Communication

対話を通して価値観を伝え合い、
「聴く・理解する・伝える」で
信頼関係を築きます。



3

MIPシステム

Management Insights Program

個人・組織のデータを一元管理し、
ストレス状態や離職リスクを
多面的に把握します。



これら3つの独自ツールを活用し、
社員と社員の間に、情報が自然に通る「道」をつくります。

目指す
未来

立場や組織の壁を越えて、人と人がつながり、
自由活発に意見や情報を交わせる会社。
そして、「つながろう・語ろう・助けよう」の世界へ。

つながろう

一人ひとりの理解から、
組織の力へ

語ろう

安心して話せる関係が、
可能性を広げる

助けよう

助け合いが、組織の力になる

ビジネスブレインアカデミーだけが提供できる「脳からの情報」

【学術監修版】 **脳傾向性診断テストPAシート** (Potential Assessment sheet)



最新の脳科学の研究では「脳のネットワーク特性が個人の思考・行動特性に大きく関係している」ということが実証されています。

脳の使用傾向タイプが分かります。
タイプは全部で15タイプあります。

4つの脳のネットワークの使い方が「数値」でわかります。
合計で100%になります。24%以上を「優位に使用している」と判断します。

テストでの心の状態が「数値」で分かります。
いわゆるストレスが悪い方向に出ているのか、または高い方向に出ているのかが判断できます。

初対面に近い人との人間関係の傾向が「数値」で分かります。

ビジネスブレインアカデミーだけが提供できる「UECカード」

- 脳の傾向性を分かりやすく伝えるコミュニケーションツールです。
- 相手の傾向を理解し、より良いコミュニケーションにつなげます。
- メモをして発言することで、体感しながら理解を深めます。



9枚のテーマカード

ビジネスブレインアカデミーだけが提供できる「COM／DCブレイン」

- 女性スタッフが多い職場に最適研修プログラムです。
- 医療・福祉の現場に特化した研修プログラムです。

〈研修プログラム構成〉

自己理解・自己発信（自分の強み・役割を知る）	
脳傾向性診断テスト PAシート	
心の在り方	スタッフ間の相互理解に基づくコミュニケーション力の向上と自立
感情のコントロール 感謝ノート研修	UECカードとメモ研修



管理者向け

～社員の可能性を最大化するために～
ＭＩＰ
Management Insights Program

一目でパッとわかる!! MIPシート

MIPシート1は、脳傾向性診断テスト／PAシートの情報から、管理者向けに「マネジメントに必要な情報」を可視化しています。
MIPシート2は、社会的発達診断テストの情報から、管理者向けに「マネジメントに必要な情報」を可視化しています。

※MIPシート2はオプションとなっています。



ストレスや課題の傾向が分かります。

コミュニケーションの傾向が分かります。

脳の傾向性から、対象者のタイプが分かります。

社内環境の影響が分かります。

脳の傾向性から採用・配置・育成のヒントが分かります。



目標達成に対する意欲が分かります。

部下へのこだわり度が分かります。

注意力の傾向が分かります。

複数の業務に対応できるか分かります。

MORII　ヒトづくり事業部

～脳からはじまるヒトづくりプログラム～

学術監修

専門的な知見に基づいた、
信頼のプログラムを提供します。



酒井 邦嘉 教授

Kuniyoshi Sakai

東京大学
大学院 総合文化研究科
言語脳科学者



嶋田 総太郎 教授

Sotaro Shimada

明治大学
理工学部電気電子生命学科
認知脳科学研究室



杉山 崇 教授

Takashi Sugiyama

神奈川大学
人間科学部
大学院人間科学研究科委員長
心理相談センター所長



増尾 好則 先生

Yoshinori Masuo

元東邦大学
人間生物学部門
神経科学研究室
神経科学医学博士

MORII ヒトづくり事業部｜企業向け 導入効果・研修構成

この研修で、組織はどう変わるのか？

「人を変える」のではなく、自己理解・相互理解・心の理解を通じて、
社員同士の関わり方と組織のコミュニケーションを変えていきます。

1 人材定着
一人ひとりの違いを理解し
孤立・ミスマッチを減らす

2 心理的安全性
意見や相談を伝えやすい
職場づくりにつなげる

3 管理職の育成力
部下に合わせた伝え方・
任せ方・関わり方へ

4 チーム力向上
違いを強みに変え
協働できる組織へ

自己理解 → 相互理解 → 心の理解 → 安心と信頼のある組織へ

研修プログラム構成例

テーマ	プログラム	時間	備考
自己理解	脳傾向診断PAシートの解説	60分	事前にPAシートを実施
相互理解	UECカード研修	60～90分	
脳の活性化	脳の活性化ワーク	60分	
脳の集中力	マインドフルネス	60分	
感情コントロール	チェンジミーニング	60分	

お問い合わせ

株式会社森井製作所　ヒトづくり事業部

部長　柿﨑　政和｜TEL 0182-24-3641｜E-mail masakazu-k@morii-ss.jp

〒013-0102　秋田県横手市平鹿町醍醐字西ケ沢前森2

森井製作所
ホームページ